

予算特別委員会での主な質疑

- Q** LED化を自治会などで取り組んでいる。昨年度と同じ600万円ほどの予算計上であるが、LED化工事は令和8年で終了するのか伺う。
- A** 企業局の補助金を活用し、8年度は西根地区の200基ほどを計画している。市が管理する防犯灯は、あと2年ほどLED化が終わる見通しである。
- Q** 公道、道路側に空き家が年々傾斜している。定期的なパトロールなど対策を取っているか。
- A** 空き家については、現地調査を実施してきた。特に危険な状況の物件や通報などがあった場合、速やかに現地を確認し、回答用紙を添えて管理を徹底するように連絡、パトロールも随時行っている。
- Q** 荒屋新町の旧生活改善センターの今後の解体に向けた方向づけと、危険な時は対策を講じるのか伺う。
- A** 早期に解体する施設の位置づけである。予算の関係を見ながら検討していく。今後、状況を見ながら適切に管理する。
- Q** 生活保護扶助費は2億2800万円が予算化されている。今後も増えていくのか伺う。
- A** 世帯人数は減少傾向である。令和8年度の予算内訳は、生活扶助費9100万円ほど、医療扶助が1億2300万円ほど、介護扶助1300万円ほどである。

- Q** 主要な生産者から畜産事業全般のアンケートがあった。飼料費高騰は深刻である。調査結果がどう反映されるのか。
- A** 今回調査した意見をもとに、国や県などの各種補助事業などの計画の大多ととなる市の畜産振興プランを策定し、繁殖育成センターや関係機関と一層連携を図る。繁殖育成センターの計画では、利用頭数616頭となっているが、現時点の受入れ状況は。
- Q** 令和8年3月1日現在で、乳用種275頭、肉用種が98頭、計373頭となっている。4月からは市外から肉用牛の受入れも予定している。
- Q** 鳥獣被害に関しては、予断を許さない状況と考える。8年度さらに対策を強化する意味で電気柵事業、樹木伐採事業の申し込みなど臨機応変に対応し、申請に来た方へ正しい説明をすることで、単なる許可交付対応を行わないようにしては。設置をする際、また、あとの状況を検証していく。申し込み状況なども踏まえ、要望が多い時は対応を考えていく。
- Q** クマ対策を考えたときに、スクールバスの規定で小学校は4歳以内、中学校は6歳以内が徒歩という決まりがあるが、全区間利用できないか考えを伺う。
- A** 教育委員会は、市との調整を図りながら児童生徒の安全を第一に考え常に取り組んでいる。

予算特別委員会での主な質疑

- Q** 大更駅前拠点整備事業について、工事の完了が遅れている。工事の監理業務委託の増額について内容は。
- A** 工事の監理業務は、8年度では予算措置をせず繰越明許の予算内で行う。前回の工期延長の増額予算での対応となる。
- Q** 大更駅前沿線商業用地は、今まで多額の投資をしてきた。何としても無駄のないようにやっていかなければならない。8年度の目標が2名となっているが内容は。
- A** 過去の販売実績に基づいた8年度販売計画目標である。今までさまざまなPR活動をやってきた。市外の方からも問い合わせが何件かある。今後市外も含めしっかりとPRしていく。現在、7年度に1名の申請があり準備を進めている。
- Q** 企業誘致推進事業について、新産業用地基本計画の調査業務委託料として2295万円とあるが内容は。
- A** 現在、経済産業省のGX産業団地認定に向け申請をしている。市内に新たに工業用地を造成する基本計画を策定するもの。市道整備事業委託料について、沢口地区流雪溝詳細設計業務委託料1500万円が計上されている。業務委託の期間は。説明会・意向確認の結果、管理組合を組織化し設置を行いたいという回答を得た。今後、流雪溝に流す用水の水量などを確認し、秋口までかかる形で精査していく。

- Q** 沢口地区は高齢化が進んでおり早く流雪溝建設を実現しなければ管理が非常に大変である。完成を急いでいただきたい。過疎債を入れての事業になる。他の過疎債事業と調整しながら進めていく。
- A** 松子線踏切改良について、順番がありなかなか進まないという状況が現状は。拡幅改良が最重要課題と考えている。踏切改良は市単独ではなくJRと協議し進めていかなければならない。現在、後藤川圃場整備関係で森子踏切を令和10年度以降に切換え工事実施予定。以降、松子踏切の協議・設計工事と進める予定であり、状況を見ながら頻りに要望していく。
- Q** 災害対策事業の食料品の備蓄数、場所、移动式エアコンなどの購入の詳細は。
- A** 毎年300食購入し、現在の備蓄数は2700食であり庁舎内に保管している。移動式のエアコンは5台購入し、これに付属するポータブル電源、予備バッテリーなども5組購入予定である。
- Q** 平館高等学校が非常に厳しい状況にある。振興対策として833万円の予算が3年間変わらないのはなぜか。
- A** 内容は、進路指導支援と部活動の強化および支援、そして国際理解教育の推進支援、学習支援員の支援など、さまざまである。予算額は変わらないが、令和7年度から教育委員会として、市内外の中学校を訪問しながら平館高校の魅力を伝える。次年度も強力に進めていく。



平館高等学校

平館高等学校教育振興事業

【予算額】 833万円

【事業内容】 教育支援、部活動の強化、進路指導などの支援を行う平館高等学校教育振興会の事業に対し補助を行う。



防災訓練の様子

災害対策事業

【予算額】 2,723万円

【事業内容】 災害発生時に被害を最小限にするため、自主防災組織化に係る事業を推進し、食糧などを備蓄する。




大更駅前沿道商業用地分譲地

大更駅前拠点整備事業

【予算額】 1億8,424万円

【事業内容】 八幡平市交流複合施設を中心に商業・文化エリアの構築と関係人口の拠点としてのにぎわいを創出する。



ガバメントハンターの皆さま

有害鳥獣駆除事業

【予算額】 1,989万円

【事業内容】 ツキノワグマやイノシシによる被害や目撃が拡大傾向にあることから、有害鳥獣対策を実施、被害の軽減を図る。



繁殖育成センター

畜産施設管理事業

【予算額】 3,633万円

【事業内容】 畜産経営体（農家）の労働力軽減、飼養頭数の維持、乳質や乳量の拡大を図る。



LED化した防犯灯

地域安全普及推進事業

【予算額】 1,160万円

【事業内容】 防犯地域安全への理解の促進と刑法犯罪件数の減少を図る。

3月定例会

●会期 2月19日～3月17日(27日間)

焼け走り国際交流村条例や 当初予算など36議案を可決



3月定例会議案採決(議案第30号)

今回は	
報告	2件
市長提出議案	35件
議員提出議案	1件

【議案第1号】教育委員会の教育長の任命に同意を求めることについて

教育長人事案件 全会一致で同意

令和8年3月31日をもって辞職する教育長の星俊也氏の後任に田村忠氏を新たに任命しようとするものです。

長年にわたり八幡平市の教育に尽力され、現在、小学校と中学校の統合という大きな事業を抱える中、なぜ辞められるのか。

今年度から体調がすぐれないということも含め、星教育長からいろいろとお話を聞く中でやむを得ないということと受理をさせていただいた。

市は今後5年間で小学校と中学校の統廃合という大きな課題に取り組みなければならぬが、十分留意した上で拜命されているのか。

田村忠さんは、旧西根町時代に教育委員会に在籍していた経緯もあり、今回の統合の件もご理解いただいていた。

【議案第16号】岩手山焼け走り国際交流村条例の一部を改正する条例

焼け走り国際交流 村条例一部改正

焼け走り国際交流村条例の一部を改正するものです。

市の直営になるが、どのような形で管理運営するのか。春には最低限トイレなどの利用を可能にする。今年7月には岩手山の山開きも予定され、登山者の不便にならないように対応していく。また、温泉施設については、さまざまな修繕が必要なことからコストも詰めていく。

おり、この厳しい局面で先頭に立って課題解決に取り組んでいただける方である。新しい教育長の任期はどのような期間か。

本年4月1日から現在の星教育長の在任期間である本年11月14日までとなる。

再任用という形で長期的視点があるのか。制度上、やむを得ないが、次期についての明言は、この場では差し控えたい。

【議案第22号】八幡平市過疎地域持続的発展計画の策定に議決を求めることについて

八幡平市の持続的 発展計画を策定

八幡平市過疎地域持続的発展計画を策定しようとするものです。

計画にある「教育の質向上について」、具体的にどのような取り組みを進めるのか。

具体的には、コミュニティスクールの活用や一人一台のタブレット端末を活用した自学自習の推進、中学生が地域づくりに参画する主体的・対話的な学びの場を広げていく方針である。

教育関連の計画や文言が複数の資料に分散しており分かりにくいのではないかと。市の最上位計画である「第3次総合計画」を基に、各事業の目的に応じて個別計画(過疎計画など)を策定しているためである。全体の方針については、毎年度の市長施政方針や教育行政方針に集約している。

【議案第24号】令和7年度八幡平市一般会計補正予算(第9号)

4億727万円の 減額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ4億727万4千円を減額し、総額225億3351万3千円とするもので、主な歳出は次のとおりです。

- ▼多面的機能支払事業 7559万円(減額)
- ▼定額減税補足給付金事業 1300万円(減額)
- ▼道路等維持補修事業 482万8千円(減額)

多面的機能支払事業は、当初3億3000万円余りであるが、今回の補正で7500万円も減額した主な要因は。

国の予算配分が確定したことに伴う精算が主な要因である。本事業は、国の予算内示率が変わりやすいため、当初は前年度比75%程度の見込みで計上し、最終的な確定額に合わせて補正を行ったものである。

【議案第31号】令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算

討論(令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算)

【反対討論】 齊藤 隆雄 議員

一般被保険者国民健康保険税に子ども・子育て支援納付金分(現年課税分)1417万7000円が計上されている。本来、国民健康保険は病気やけがの治療に備えるための相互扶助制度である。子育て支援という別の目的に上乗せすることは、保険制度の本来の在り方をゆがめるものである。税金ではなく保険料という形で徴収することで、国民の抵抗感を抑えるものであるが、実質的な隠れ増税である。自営業者や非正規雇用者が加入する国保は、被用者保険(社保)に比べて所得に対する負担率が高くなる傾向にある。子どもにない世帯や独身者からも強制的に徴収するため、若者の経済的余力を奪い、結果として結婚や出産を遅らせる少子化助長策になりかねない。社会保険制度の趣旨を逸脱している。反対の立場での討論とする。

討論（令和8年度八幡平市一般会計予算・3月17日本会議）

【反対討論】 高橋 悦郎 議員（日本共産党）

当市の最大の課題は、出生数の減少である。最近の出生数を見ると、令和5年度は61名、令和6年度が57名、令和7年度の現在時点では63名となっている。これは、想定を超える減少数と考える。その要因の一つと思われるのは、子育て世代と思われる若年層が依然として滝沢市や盛岡市などに転出をしていることである。その転出を防ぐ対策として、子育て世代への安価な宅地の供給が必要ではないか。市長は、大更駅東側に子育て世代向けの宅地造成を民間事業者に進めていただくと述べているが、いまだ動きはない。残念ながら、8年度予算には、関連

する予算が計上されていない。市が必要な予算を投入して、直ちに進めるべきである。次に、8テラスの開館を120日間の再延期をすることについてである。再延期による当市の財政負担はないと考えていたが、指定管理者は4月1日開館に合わせて、既に職員を雇用する予定になっている。30名ほどの職員の120日分の人件費を支払うことが質疑の中で明らかになったことは驚きであった。開館準備委託料は、令和8年4月1日の開館に向けて、既に1400万円予算化している。開館準備の予算は新たに必要ないはずである。以上ことから、令和8年度一般会計予算の反対討論とする。

【賛成討論】 立花 安文 議員（八起会）

令和8年度の一般会計予算総額189億4900万円は、令和7年度当初予算から約21億5000万円が減額になった。しかし、間もなく完成する市交流複合施設（8テラス）建設関係分が主な減額の理由である。また、令和6年度当初予算額182億7900万円を超える金額であり、住民福祉の向上に配慮した予算であると評価する。歳入においては、人口減少が続く中において市税の増額は、着実な産業振興施策の展開と的確な行政運営が効果的に機能している。ふるさと応援寄附金は3億7000万円を計上しており、寄附金の増額は地場産品の需要拡大や特産品開発につながり、

地域活性化が図られることから評価する。歳出においては、市交流複合施設（8テラス）の開業準備新たな産業団地の用地選定に向けた基本調査、八幡平市初の木質バイオマス発電所建設関係への補助、第81回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会の開催、松尾地区統合小学校開校に向けた費用など、第3次市総合計画のスタート年にふさわしい各種事業に対して、予算が計上されており評価する。財政の健全化を進め、市債残高は前年度対比で、90・1%、と大幅に減少している。令和8年度八幡平市一般会計予算には、さまざまな住民福祉施策が盛り込まれており、市民の付託に十分、応えていることを評価する。

令和8年第1回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議案名	議員名 (会派名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
		山口 朋文(無会派)	外山 一則(八起会)	田村 正元(八起会)	齊藤 隆雄(日本共産党)	関 治人(八起会)	羽沢 寿隆(八起会)	工藤 多弘(松西会)	勝又 安正(八起会)	北口 功(無会派)	熊澤 博(自由クラブ)	立花 安文(八起会)	渡辺 義光(市民クラブ)	工藤 直道(自由クラブ)	古川 津好(松西会)	高橋 悦郎(日本共産党)	高橋 光幸(市民クラブ)	井上 辰男(八起会)	工藤 隆一(八起会)	
議案第30号	令和8年度八幡平市一般会計予算	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	—	原案可決
議案第31号	令和8年度八幡平市国民健康保険特別会計予算	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	—	原案可決

※議長は採決に加わりません